

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市民会館
所在地	加西市北条町古坂1丁目1番地
担当課	行政課
主要施設	敷地面積7,970㎡ 延床面積5,982㎡ (文化ホール2,987㎡、コミュニティセンター2,995㎡)

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社ケイミックス
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	49,129,160円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用人数	利用料収入
文化ホール	308件	31,488人	1,376,510円
コミセン	3,772件	71,650人	3,312,160円
自主事業	10回	6,491人	—
開催講座	24講座	509人	—

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	<p>事業計画件数の自主事業を実施されたが、施設利用者数は対前年度比△2,990人(文化ホール△2,589人、コミセン△401人)と下回る結果となっている。一部事業において集客低調な公演もあり、市民ニーズ等を的確に掴めていなかった感が否めない。その一方で若年ファミリー層をターゲットにした公演は、過去に例のない取組みで大変好評であり、それに伴い授乳スペースとして「赤ちゃんルーム」を臨時に設けるなど創意工夫した取り組みをされている。</p>
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	<p>日常点検ほか本社担当者を加えてのウォークスルーチェック(自主巡回点検)を実施し、不具合箇所等の改善を図り、常に施設を良好な状態で維持するよう努められている。 自主事業時のアンケート、常設の意見箱、インターネット等から利用者の意見・要望を把握し、苦情については速やかに対処されている。また、年に1回利用者からの意見を直接聞く利用者意見交換会を開催されて、サービス向上のアイデアとなる市民の声を把握するよう努められている。 平等利用の確保のために、施設運営ルールなどコンプライアンスの徹底を目的とした教育を積極的に実施している。</p>
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	<p>万全な体制でサービスを提供できるよう委託先職員も含めて定期的に研修を実施されており、また公民館職員を含めての消防訓練も実施している。さらに、館長及び総務課長についてはスキルアップ研修としてサービス介助士2級の資格を取得し、利用者への対応力の向上を図っている。 施設は老朽化しているなか、予防保全思想を導入し、大きなコストが必要とされる前に、こまめな点検や小修繕を実施し、安全性の維持に努められている。 日常点検は実施されているのだが、草刈が十分に行えていなかった所もあり、指示した後はこまめに点検管理されている。 業務再委託については、協定書の規定に基づき事前に市の承認を得ており、適切に管理されている。 市担当者への月次報告、管理運営上の問題等も適切に報告されており、市との信頼関係も構築している。</p>
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	自主事業における市民参加型事業において「かさいカルチャーフェスティバル」と称して、生涯学習事業の講座参加者による合同発表祭を、また育成事業においては加西市出身の落語家等と共に介護施設へ慰問訪問するなど地域に密着した事業を展開している。また、商工会議所の会員に加入し、地元企業との交流を図ると共に販売促進活動も展開している。雇用については地元住民の雇用率が75%と高く、また物品購入においても積極的に地元企業から購入している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	省エネ意識を高くもって管理運営され、電気、水道、ガス、灯油の使用料は対前年度比でいずれも下回っている。収支決算において黒字が確保されており、収支状況は概ね良好ではある。しかし、予算と決算に差があり、その中でも自主事業費にかかる収支予算が大きく、精度を欠く内容となっている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	市民会館の設置目的である「生活文化の向上と教育の振興」を理解して業務を実施しており、利用者への対応、施設維持管理等、指定管理者として市担当が求める水準の管理運営が適切に行われている。 当社は本市での指定管理業務が初ではあるが、他市での指定管理で蓄積された実績やノウハウを活かし、文化ホール事業においては過去には例のない若年ファミリー向けイベントや講座事業においては、ネパール料理等の世界の家庭料理講座等、内容を創意工夫し成果を上げられている。

【今後（次年度以降）の課題等】

指定管理者として初年度でもあり、コミセンでの講座事業については順調に実施されていたが、文化ホールでの自主事業に準備期間を要したため、上半期はほぼ未実施であった。それに伴い、ホームページでの情報発信も不十分なものであった。下半期に入り、他館において培われてきた指定管理業務のノウハウを存分に発揮し、次々に事業を展開され、年度終了時には計画どおりの件数を実施された。ただし、一部事業において市民のニーズ等を的確に掴みきれず集客が低調なものもあり、次年度以降は、本館の設置目的を踏まえた市民の求める自主事業の実施と創意工夫に努められたい。 また、特に自主事業における収支予算については、綿密な計画を立案し利用人数の増加及び利用率の向上を図られたい。
--

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市立善防園
所在地	加西市西笠原町172-142
担当課	地域福祉課
主要施設	敷地面積8411.54㎡ 延床面積939.39㎡

2. 指定管理者

指定管理者	社会福祉法人加西市社会福祉協議会
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	70,080,000円

3. 施設の利用状況

施設名	開園日数	延利用者数
善防園	255日	11,435人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	在籍者数は、年度末で57名と前年度5%増、利用率(1日平均)45名と10%増となっている。自主事業では、紙すき、手芸、農園(にんにく)、製菓(クッキー・パンケーキ等)竹炭を計画通り実施している。新たな出品箇所も開拓している。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	訓練室の屋外出入りの段差の解消や各部屋の目印に色で表示し利用者に対応できるよう工夫されている。2ヶ月に1回保護者会を開催しアンケートの実施や要望の聞き取りを行っている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	人員配置については、有資格者を配置している。人員配置については、配置基準(生活支援員7名)を超える8名を配置し利用者の支援を行っている。外部研修にも積極的に参加し資質の向上に努めている。安全管理や防災マニュアルも整備されており年2回の消防点検も受検されている。25年度は、園敷地周辺の雑木の伐採も行い環境改善に取り組んでいる。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	各ボランティアの受入、イベントやバザー等の交流を通して、障がい者理解の推進に努めている。物品購入はできるだけ市内で購入するようにしている。利用者の買い物支援の一環として、利用者に店に同行してもらうこともある。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	冬季の薪ストーブによる光熱費の削減に向けた工夫がみられた。各バザーの実施では、パンフレットを手渡しするなど事業所のPRに努めている。経理面でも適正な書類が作成されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	利用者が利用しやすいように、環境整備に取り組むとともに、園内会議や研修会に積極的に参加し資質の向上に努められている。利用者配慮への工夫も見受けられた。利用者の個々の特性にあった対応が必要であり一層のスキルアップに努めていただきたい。

【今後（次年度以降）の課題等】

年々、利用者が増えており、善防園を希望される方が増えると見込まれる。施設のキャパシティーでは、1日利用者数が平均50名が限界であり、この状態が続くと利用者の受け入れが困難になってくるため利用者の受け入れをどのように行っていくかが大きな課題となっている。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市古法華自然公園研修施設
所在地	加西市中山町、東剣坂町、西長町
担当課	商工観光課
主要施設	敷地面積 約150ha 研修センター、公園施設

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	6,560,000円

3. 施設の利用状況

施設名	市内利用者	市外利用者	合計
キャンプ場	117人	5,739人	5,856人
BBQ場	563人	2,177人	2,740人
ウォーキング等	—	—	36,160人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	施設利用者数が減少している。自主事業も計画どおりにできていない。しかし広大な施設を利用者が快適に過ごせるように管理されている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	利用者の苦情対応については誠実に対応ができています。利用者が利用しやすい環境づくりは適切に行われている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	施設の管理運営については、適正な人員配置を行い、また必要な場合は集中して人員を確保し作業に当たっている。よって、施設については非常に快適な状態が保たれている。 しかし、緊急対応が必要な情報等の連絡がおろそかになる場合もあり、また月例報告などの提出も指導しても遅れる場合がある。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	ゴールデンウィークのイベントで、地元野菜などの販売を行っている。地域連携の取り組みが不十分。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	元々無料施設であるため、増収対策が見込めないうえに、計画的な自主事業もできておらず、収支改善は難しい。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	広大な施設の管理運営については、十分対応できている。しかし自主事業はできていない。また報告の遅延や、ホームページの更新ができておらず、事務作業の徹底が望まれる。

【今後（次年度以降）の課題等】

施設の管理だけでなく、次年度からは積極的に広報をしたり、イベントを開催するなど、古法華自然公園の良さを市内外にPRするような姿勢をみせていただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市都市公園
所在地	市内12カ所
担当課	都市計画課
主要施設	丸山総合公園、ハイツ第1公園、ハイツ第2公園、さつき公園、朝妻公園、曾根公園、吉本公園、網引公園、常吉ふれあい公園、井ノ岡公園、大坪公園、網引緑地

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	14,200,000円

3. 施設の利用状況

施設名	許可申請件数	利用人数
丸山総合公園	228件	20,596人
ハイツ第2公園	154件	2,378人
朝妻公園	317件	6,391人
吉本公園	14件	2,220人
さつき公園	2件	250人
合計	715件	31,835人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	季節にあった自主事業を開催（夏休みに小学生を対象とした科学教室・正月前にはしめなわづくり教室）し、より多くの方々に公園を利用していただくよう、きっかけづくりに取り組んでいた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	施設の案内リーフレットを作成し、公園利用へのPRに努めた。 意見箱を設置し、出てきた意見・要望に関しては迅速・的確に対応した。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	公園スタッフに対する消火訓練・避難訓練・普通救命講習会を実施し、公園利用者の安全の確保に努めている。 老朽化の目立つ電気・給排水設備の不具合に対し迅速に対応している。 枯松の伐採、草刈や剪定を計画的に行うことで景観に配慮し、公園利用の快適性を充実させている。また公園内の剪定枝をチップ化することで、環境に配慮すると共に、ゴミの減量化に努めた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	施設スタッフとして地元住民を雇用すると共に備品や消耗品は市内の店から購入している。 トライヤるで地元中学生を受け入れ、ローラー滑り台のマットを製作した。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	都市公園の管理という収入増加につながる取り組みが行いにくい業務であるが、運営経費を抑え、ソフト事業に取り組んでいる。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	都市公園の安全性・快適性を維持しながら、利用者サービスの向上を図っている。

【今後（次年度以降）の課題等】

- ①利用者増加に向けた新たなPR方法の検討（ホームページのリニューアル等）
- ②利用者満足度向上に向けた公園施設の経年劣化に対する中長期的な修繕計画の立案、実施
- ③公園施設の適正利用（いたずら防止等）に向けた対策の検討

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市玉丘史跡公園
所在地	加西市玉丘町76番地
担当課	文化スポーツ課
主要施設	公園面積6.2ha

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	5,791,000円

3. 施設の利用状況

施設名	利用団体	利用者数
公園	—	30,445人
グランドゴルフ	6組	218人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	C	今年度の利用者数は30,445人であり、昨年度に比べ、利用者数が約11%減数している。 自主事業は、4企画を予定していたが1企画だけが実施された。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	C	利用者のニーズは聞き取り調査で把握しているが、アンケート調査などは行われておらず十分とは言えない。 施設の平等利用については適切に対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	立入禁止看板設置や古墳周りの安全柵設置、破損したトイレタイルの修繕など、安全対策、施設の修繕などは適切に行われた。 公園内の植栽管理は順次行われている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	市関連の公園活用イベントにはお茶をふるまうなど協力体制があった。 一部外部委託には、地元のシルバー人材センターを活用している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね適切に執行されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	C	自主事業の実施や利用者のニーズ把握に十分でないところがある。ほかは事業計画に基づき、概ね適切に実施されている。

【今後（次年度以降）の課題等】

今年度は公園の利用者数が減少した。年度末に大型遊具が完成し、公園利用者の様相、人数も変化するので、利用者のニーズの把握と対応に努める必要がある。また、公園の設置目的に関連した自主事業を開催し、公園のPRに努める必要がある。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市体育施設
所在地	市内8施設
担当課	文化スポーツ課
主要施設	加西勤労者体育センター、加西テニスコート、加西球場、多目的グラウンド、加西市民グラウンド、屋内ゲートボール場スパーク加西、グリーンスポーツ広場アクアス加西、加西南テニスコート

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	25,600,000円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用者数	利用料収入	備考
体育センター	1,897件	17,877人	2,749,740円	
テニスコート	1,215件	8,103人	2,783,350円	
加西球場	175件	12,397人	1,544,900円	
市民グラウンド	148件	12,020人	114,750円	
多目的グラウンド	54件	3,161人	—	9月より工事のため利用停止
すぱーく加西	738件	6,584人	611,450円	
アクアス加西	240件	5,066人	39,600円	
加西南テニスコート	201件	1,550人	660,000円	
南多目的グラウンド	105件	2,346人	—	
合計	4,773件	69,104人	8,503,790円	

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	C	仕様書や事業計画通りに開館できた。アクアスカさいの芝生養生や多目的グラウンド改修に伴う利用制限があったが、これらを除いた施設の利用率・利用人数はそれぞれ前年度の96%・99%と減少した。自主事業のサッカークリニックは実施されなかった。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	アンケート調査により利用者の要望等を確認しているが、利用者の意見・要望を十分に把握し、運営に反映しているとは言い難い。また、苦情等への対応が不適切な面も多々みられる。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		

評価項目	評価	評価理由
3. 適正な管理運営	B	備品及び物品の管理については適切になされており、軽微な修繕については協定に即し、管理運営で対応した。 アラジンスタジアム、市民グラウンドでは、グラウンドが荒れている、トイレがよごれているなどの意見が多々あった。特にアクアスカさいでは散水及び草引き等の簡単な作業ができず芝を傷めるなど、従業員間で適切な情報共有ができず、指示系統も明確に形成できていなかった。 施設の特性を考えた管理運営が必要であり、一部の施設については十分なノウハウがあるとは言い難い。 その他の施設は概ね適切な管理が実施できている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		
4. 地域貢献	C	地元雇用は100%であり、施設管理人はシルバー人材センターを採用し、修繕には地元業者を活用している。 加西市体育協会と連携した定期的な「運営協議会」は全く開催されず、地域と連携した施設運営が行えたとは言い難い。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	利用料金については、施設により前年度を上回っている。 自主事業の開催や自動販売機の増設により増収となり、予算額を上回る決算となっている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	C	一部の施設において実施計画書通り管理運営を行っていなかった。利用者のニーズを把握する取組も不十分であり、意見や苦情に対し迅速な対応ができていなかった。 特に行政に対する依存度が高く指定管理者としての能力は低いといえる。

【今後（次年度以降）の課題等】

施設の特性を十分に認識した維持管理を実施していただきたい。
市民からの苦情に対しては、早急且つ適切に対処していただきたい。
管理運営業務実施にあたっては、各種スポーツ団体と連携を図られたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成25年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市ランドマーク展望台
所在地	加西市玉野町1, 124番地の9
担当課	文化スポーツ課
主要施設	展望台、遊具、モニュメントベル、山頂広場、山麓登山口広場

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	750,000円

3. 施設の利用状況

施設名	延人数
登山者数	3,537人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	概ね仕様書や事業計画通りに実施できたが、フォトコンテストを開催できなかった。 利用者数は、前年度の指定管理者が集計していなかったため、増減の把握は不可能であった。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	「なぞなぞクイズ」の立て看板や、ご意見を設置するなど、利用者の満足度向上を目的とした取組がなされた。 また、利用者からの苦情に対しても迅速に対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	備品及び物品の管理について、適切に処理なされている。また、施設の特性を考えた管理運営が実施されている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	トライやる・ウィークに市内中学生を受け入れ、清掃、ごみ、空き缶拾いなどの社会体験活動の場を提供いただいた。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね事業計画書のとおり、適正に執行されている。
経費の削減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	概ね実施計画書通り管理運営を行っている。新たに意見箱を設置し、利用者ニーズの把握に努めており評価できる。また、利用者からの苦情に対しても迅速かつ適正な対応がなされている。

【今後（次年度以降）の課題等】

施設の特性を十分に認識した維持管理を図るため、特に登山道の草刈りや樹木の枝払いなど利用者の安全確保を守っていただきたい。
 市民からの苦情に対しては、早急且つ適切に対処していただきたい。
 管理運営業務実施にあたっては、各種スポーツ団体と連携を図りたい。
 利用者向上のため、さらなる自主事業の取組を図りたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
 A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
 B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
 C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
 D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
 A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
 B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
 C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
 D：各項目にDが含まれる場合